



2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年1月28日

上場会社名 日立金属株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5486 URL <https://www.hitachi-metals.co.jp/>
 代表者 (役職名) 執行役会長 兼 執行役社長 (氏名) 西山 光秋
 問合せ先責任者 (役職名) コミュニケーション部長 (氏名) 南 達也 TEL 03-6774-3077
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上収益 | | 調整後営業利益 | | 営業利益 | | 税引前四半期利益 | | 四半期利益 | |
|---------------|---------|-------|---------|-------|---------|---|----------|---|---------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第3四半期 | 541,403 | △19.3 | △8,585 | - | △37,927 | - | △39,402 | - | △33,940 | - |
| 2020年3月期第3四半期 | 670,963 | △13.5 | 11,821 | △72.4 | △34,708 | - | △35,746 | - | △40,795 | - |

[重要]当社グループは、事業再編等の影響を排除した経営の実態を表示するため、要約四半期連結損益計算書に表示している営業損失からその他の収益、その他の費用を除いた指標である調整後営業利益を記載しています。調整後営業利益は、当社の親会社である日立製作所を中心とする日立グループ統一の利益指標です。

| | 親会社株主に帰属する四半期利益 | | 四半期包括利益合計額 | | 基本的1株当たり四半期利益 | 希薄化後1株当たり四半期利益 |
|---------------|-----------------|---|------------|---|---------------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第3四半期 | △33,719 | - | △37,041 | - | △78.86 | - |
| 2020年3月期第3四半期 | △38,934 | - | △45,056 | - | △91.06 | - |

(2) 連結財政状態

| | 資産合計 | 資本合計 | 親会社株主持分 | 親会社株主持分比率 | 1株当たり親会社株主持分 |
|---------------|---------|---------|---------|-----------|--------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期第3四半期 | 916,191 | 480,242 | 477,856 | 52.2 | 1,117.62 |
| 2020年3月期 | 977,766 | 522,853 | 520,313 | 53.2 | 1,216.92 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | - | 13.00 | - | 13.00 | 26.00 |
| 2021年3月期 | - | 0.00 | - | - | - |
| 2021年3月期 (予想) | - | - | - | - | - |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上収益 | | 調整後営業利益 | | 税引前当期利益 | | 親会社株主に帰属する当期利益 | | 基本的1株当たり当期利益 |
|----|---------|-------|---------|---|---------|---|----------------|---|--------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 750,000 | △14.9 | △10,000 | - | △57,000 | - | △46,000 | - | △107.59 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

[重要]当社グループは、事業再編等の影響を排除した経営の実態を表示するため、連結損益計算書に表示している営業損失からその他の収益、その他の費用を除いた指標である調整後営業利益を記載しています。調整後営業利益は、当社の親会社である日立製作所を中心とする日立グループ統一の利益指標です。

※ 注記事項

発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年3月期3Q | 428,904,352株 | 2020年3月期 | 428,904,352株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期3Q | 1,339,917株 | 2020年3月期 | 1,337,583株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2021年3月期3Q | 427,565,831株 | 2020年3月期3Q | 427,568,792株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想値と異なる場合があります。前記の予想に関する事項については、添付資料5ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 5 |
| 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 要約四半期連結財政状態計算書 | 6 |
| (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 要約四半期連結損益計算書 | 8 |
| 要約四半期連結包括利益計算書 | 9 |
| (3) 要約四半期連結持分変動計算書 | 10 |
| (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 継続企業の前提に関する注記 | 13 |
| (6) セグメント情報 | 13 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、次のとおりです。

当第3四半期連結累計期間は、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）拡大を受けて世界各地における経済・社会活動が大きく制限される状況が継続しました。世界経済については中国や米国等で景気持ち直しの動きが見られましたが、全体としては厳しい状況が続きました。当社グループの事業領域においては、第1四半期連結会計期間を底として、第2四半期連結会計期間以降は需要回復の動きが継続しました。しかしながら、当第3四半期連結累計期間で見ると前年同期比では需要が減少しました。この結果、売上収益は、前年同期比19.3%減の541,403百万円となりました。

調整後営業損益[※]は、固定費削減等の実施に加え第2四半期連結会計期間以降は売上収益の回復に伴い損益の改善が見られました。しかしながら、当第3四半期連結累計期間では、売上収益の減少等により前年同期比20,406百万円減の8,585百万円の損失となりました。

その他の営業収益については、2020年4月1日付で三菱日立ツール株式会社（現 株式会社MOLDINO）の当社保有の株式を三菱マテリアル株式会社に全て譲渡したことに伴い、特殊鋼製品セグメントにおいて、事業再編等利益として1,971百万円を計上しました。その他の営業費用については、第2四半期連結会計期間に、特殊鋼製品セグメントにおいて、航空機エネルギー事業の将来における収益性を見直した結果、6,812百万円の減損損失を計上しました。また、磁性材料・パワーエレクトロニクスセグメントにおいて、磁性材料事業の将来における収益性を見直した結果、15,657百万円の減損損失を計上しました。また、電線材料セグメントにおいて、自動車部品事業の将来における収益性を見直した結果、2,000百万円の減損損失を計上しました。この結果、営業損益は前年同期比3,219百万円悪化し、37,927百万円の損失となりました。税引前四半期損益は、前年同期比3,656百万円悪化し、39,402百万円の損失、親会社株主に帰属する四半期損益は前年同期比5,215百万円改善の33,719百万円の損失となりました。

なお、当社グループでは中期経営計画における重要経営課題として、キャッシュ・フローの改善と資本効率の向上を掲げ、ROIC（投下資本利益率）による経営管理を導入しております。特に当連結会計年度は、COVID-19拡大により、経営環境の先行きが不透明な状況において、財務の健全性担保のために十分な流動性を確保すること、また、需要等の外部要因に関わらず自社で実効性をあげられる取り組みを着実に推進することが、より一層、重要と考えております。このため、運転資本効率を向上するとともに、重点領域に対する厳選投資により投資額の抑制に取り組んでおります。

セグメントの業績は、次のとおりです。各セグメントの売上収益は、セグメント間の内部売上収益を含んでおります。当第3四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。

特殊鋼製品

当セグメントの売上収益は、前年同期比16.3%減の158,694百万円となりました。

売上収益について事業別に見ますと、工具鋼は、年末には流通を含めて在庫調整が終了したと見られるものの、当第3四半期連結累計期間で見ると需要減少に伴い前年同期を下回りました。産機材は、第2四半期連結会計期間以降、自動車関連製品で需要回復の動きが顕著となりましたが、前年同期との比較では減少となりました。航空機エネルギーは、主力の航空機関連材料が民間需要を中心に減少したことにより、前年同期を下回りました。電子材は、有機ELパネル関連部材が伸長し、クラッド材がスマートフォンや電池向けで増加しましたが、半導体パッケージ材料が自動車関連製品向けを中心に減少したこと等により、電子材全体としては前年同期並となりました。

ロールは、各種ロール、射出成形機用部品、鉄骨構造部品とも、需要が減少したことにより前年同期を下回りました。

調整後営業損益は、主力の工具鋼や産機材の需要が減少したこと等により、前年同期比4,961百万円減の1,607百万円の損失となりました。また、営業損益は、2020年4月1日付で三菱日立ツール株式会社（現 株式会社MOLDINO）の当社保有の株式を三菱マテリアル株式会社に全て譲渡したことに伴い、その他の営業収益に事業再編等利益として1,971百万円を計上しました。また、航空機エネルギー事業の将来における収益性を見直した結果、第2四半期連結会計期間においてその他の営業費用に6,812百万円の減損損失を計上しました。この結果、前年同期比10,449百万円減の7,952百万円の損失となりました。

素形材製品

当セグメントの売上収益は、前年同期比24.4%減の171,489百万円となりました。

売上収益について事業別に見ますと、自動車鋳物のうち、鑄鉄製品は、第1四半期連結会計期間にCOVID-19の拡大に伴い世界各地の主要顧客が操業を停止したことにより、同期間を底として大きく落ち込みました。その後、各地域の自動車販売台数の回復や各主要顧客の再稼働が順次立ち上がったこと等に伴い、当社グループの事業も回復基調が継続しましたが、前年同期との比較では減少となりました。耐熱鑄造部品も需要の減少に伴い、前年同期を下回りました。アルミホイールについては、事業から撤退することを決定し、2020年9月末に生産を終了しました。この結果、自動車鋳物全体として前年同期を下回りました。

配管機器のうち、半導体製造装置用機器は、設備投資需要の回復等により前年同期を上回りました。主力の継手類は、国内の住宅着工戸数や大規模建設工事案件の減少等により、前年同期を下回りました。この結果、配管全体としては前年同期を下回りました。

調整後営業損益は、主力の自動車鋳物の需要が減少したことにより、前年同期比12,355百万円減の11,292百万円の損失となりました。また、営業損益は、前年同期比12,438百万円悪化し、13,355百万円の損失となりました。

磁性材料・パワーエレクトロニクス

当セグメントの売上収益は、前年同期比15.0%減の75,519百万円となりました。

売上収益について事業別に見ますと、磁性材料は希土類磁石、フェライト磁石とも、第1四半期連結会計期間を底として需要が大きく落ち込みましたが、第2四半期連結会計期間以降は自動車用電装部品の需要回復が継続しました。さらに当第3四半期連結会計期間（2020年10月～12月）からはFA・ロボットやエレクトロニクス関連需要が徐々に立ち上がりました。しかしながら、当第3四半期連結累計期間で見ると、前年同期を下回りました。

パワーエレクトロニクスのうち、軟磁性材料およびその応用品は、サーバー機器等の情報通信向けが堅調でしたが、変圧器用のアモルファス金属材料が減少した結果、前年同期を下回りました。一方、セラミックス製品は、医療機器向けの需要が伸長しましたが、通信機器向けが減少したことにより、前年同期を下回りました。この結果、パワーエレクトロニクス全体としても前年同期を下回りました。

調整後営業利益は、前年同期比503百万円増の635百万円となりました。また、営業損益は、第2四半期連結会計期間において磁性材料事業の将来における収益性を見直した結果、その他の営業費用に15,657百万円の減損損失を計上しましたが、2020年3月期第2四半期連結会計期間においてその他の営業費用として42,581百万円の減損損失を計上したこと等により、前年同期比27,620百万円改善し、15,219百万円の損失となりました。

電線材料

当セグメントの売上収益は、前年同期比18.1%減の135,017百万円となりました。

売上収益について事業別に見ますと、電線のうち、機器用電線はFA・ロボット向けが増加したほか、第5世代移動通信システム（5G）基地局向け等が堅調に推移し、前年同期を上回りました。一方、鉄道車両用電線は、国内向けの需要が減少しましたが、中国向けの需要が増加したことにより、前年同期を上回りました。医療向けにおいてケーブルは前年同期並みでしたが、チューブの需要が減少したことにより、前年同期を下回りました。また、巻線は、当第3四半期連結会計期間に入り自動車向けを中心に需要の回復が見られましたが、当第3四半期連結累計期間では前年同期を下回りました。この結果、電線全体としては前年同期を下回りました。

自動車部品は、自動車市場の回復を受けて、自動車用電装部品を中心に需要が回復し、当3四半期連結会計期間においては前年同期を上回りました。当第3四半期連結累計期間では、第1四半期連結会計期間の落ち込みが大きく前年同期を下回りました。

調整後営業利益は、電線、自動車部品とも需要が減少したことにより、前年同期比3,297百万円減の1,975百万円となりました。営業利益は、自動車部品事業の将来における収益性を見直した結果、第2四半期連結会計期間において2,000百万円の減損損失をその他の営業費用に計上したため、前年同期比4,967百万円減の375百万円となりました。

その他

当セグメントの売上収益は、前年同期比20.4%減の2,030百万円となり、調整後営業利益は前年同期比172百万円増の773百万円となりました。また、営業利益は、前年同期比542百万円増の870百万円となりました。

※当社グループは、事業再編等の影響を排除した経営の実態を表示するため、要約四半期連結損益計算書に表示している営業損失からその他の収益、その他の費用を除いた指標である調整後営業利益を記載しています。調整後営業利益は、当社の親会社である日立製作所を中心とする日立グループ統一の利益指標です。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの財政状態として、要約四半期連結財政状態計算書における増減を分析すると、以下のとおりであります。

資産合計は916,191百万円で、前連結会計年度末に比べ61,575百万円減少しました。流動資産は408,766百万円で、前連結会計年度末に比べ2,647百万円増加しました。これは主に、棚卸資産が10,799百万円減少した一方、現金及び現金同等物が6,958百万円、売上債権が6,118百万円増加したこと等によるものです。非流動資産は507,425百万円で、前連結会計年度末に比べ64,222百万円減少しております。有形固定資産が38,927百万円減少しておりますが、これは主に、19,646百万円の減損損失を計上したこと等によるものです。加えて、のれん及び無形固定資産が12,658百万円減少しておりますが、これは主に、5,310百万円の減損損失を計上したこと等によるものです。また、持分法で会計処理されている投資が17,613百万円減少しておりますが、これは主に、当社が保有する三菱日立ツール株式会社（現 株式会社MOLDINO）の発行済株式の総数の49%を2020年4月1日付をもって、株式譲渡したため、持分法適用の範囲より除外された影響によるものです。

負債合計は435,949百万円で、前連結会計年度末に比べ18,964百万円減少しました。これは主に、短期借入金が42,590百万円増加した一方、償還期長期債務及び長期債務が48,748百万円、その他の金融負債（流動負債）が7,016百万円減少したこと等によるものです。資本合計は480,242百万円で、前連結会計年度末に比べ42,611百万円減少しました。これは主に利益剰余金が39,383百万円減少したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動及び投資活動の結果得られた資金が財務活動で使用した資金を上回ったことにより、前連結会計年度末に比べ6,958百万円増加し、49,311百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動に関するキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、13,107百万円となりました。これは主に四半期損失が33,940百万円に対して減価償却費及び無形資産償却費が38,405百万円、減損損失が24,956百万円、運転資金の増加により1,799百万円を支出したこと等によるものです。

（投資活動に関するキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、5,530百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得により21,003百万円を支出した一方、主に当社が保有する三菱日立ツール株式会社（現 株式会社MOLDINO）の発行済株式の総数の49%を2020年4月1日付をもって株式譲渡したことに伴う、有価証券等（子会社及び持分法で会計処理されている投資を含む）の売却による25,813百万円の収入等によるものです。

（財務活動に関するキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は、10,629百万円となりました。これは主に短期借入金が44,248百万円純増した一方、長期借入債務の償還が49,717百万円、配当金の支払により5,566百万円を支出したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)拡大を受けて世界各地における経済・社会活動が大きく制限される状況が継続していますが、当社グループの事業領域において、第2四半期連結会計期間以降は需要回復の動きがあり、第3四半期連結会計期間は、当社の想定を上回る需要回復がありました。第4四半期連結会計期間は、需要回復の動きが継続すると見込まれますが、その一方で、海外等需要増に伴う費用増加や電気料金単価上昇等の影響も見込まれます。これらの状況を総合的に勘案した結果、2020年10月27日公表した2021年度3月期通期業績予想を、下表のとおり修正いたします。

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

| | 売上収益 | 調整後営業利益 | 税引前当期利益 | 親会社株主に 帰属する当期利益 | 基本的1株当たり 当期利益 |
|------------------------|---------|---------|---------|--------------------|------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回予想 (A) | 720,000 | △14,000 | △56,000 | △46,000 | △107.59 |
| 今回予想 (B) | 750,000 | △10,000 | △57,000 | △46,000 | △107.59 |
| 増減額 (B) - (A) | 30,000 | 4,000 | △1,000 | - | - |
| 増減率 (%) | 4.2 | - | - | - | - |
| (ご参考) 前期実績 2020年3月期 | 881,402 | 14,383 | △40,614 | △37,648 | △88.05 |

[重要]当社グループは、事業再編等の影響を排除した経営の実態を表示するため、連結損益計算書に表示している営業損失からその他の収益、その他の費用を除いた指標である調整後営業利益を記載しています。調整後営業利益は、当社の親会社である日立製作所を中心とする日立グループ統一の利益指標です。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日) |
|-----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び現金同等物 | 42,353 | 49,311 |
| 売上債権 | 157,732 | 163,850 |
| 棚卸資産 | 179,925 | 169,126 |
| その他の流動資産 | 26,109 | 26,479 |
| 流動資産合計 | 406,119 | 408,766 |
| 非流動資産 | | |
| 持分法で会計処理されている投資 | 28,354 | 10,741 |
| 有価証券及びその他の金融資産 | 13,234 | 13,412 |
| 有形固定資産 | 381,095 | 342,168 |
| のれん及び無形資産 | 118,174 | 105,516 |
| 繰延税金資産 | 17,816 | 23,299 |
| その他の非流動資産 | 12,974 | 12,289 |
| 非流動資産合計 | 571,647 | 507,425 |
| 資産の部合計 | 977,766 | 916,191 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 短期借入金 | 53,048 | 95,638 |
| 償還期長期債務 | 51,253 | 23,875 |
| その他の金融負債 | 26,642 | 19,626 |
| 買入債務 | 126,640 | 120,883 |
| 未払費用 | 35,042 | 35,799 |
| 契約負債 | 640 | 600 |
| その他の流動負債 | 3,934 | 3,345 |
| 流動負債合計 | 297,199 | 299,766 |
| 非流動負債 | | |
| 長期債務 | 83,285 | 61,915 |
| その他の金融負債 | 978 | 234 |
| 退職給付に係る負債 | 67,560 | 67,683 |
| 繰延税金負債 | 2,420 | 2,339 |
| その他の非流動負債 | 3,471 | 4,012 |
| 非流動負債合計 | 157,714 | 136,183 |
| 負債の部合計 | 454,913 | 435,949 |
| 資本の部 | | |
| 親会社株主持分 | | |
| 資本金 | 26,284 | 26,284 |
| 資本剰余金 | 115,405 | 115,405 |
| 利益剰余金 | 374,820 | 335,437 |
| その他の包括利益累計額 | 4,969 | 1,899 |
| 自己株式 | △1,165 | △1,169 |
| 親会社株主持分合計 | 520,313 | 477,856 |
| 非支配持分 | 2,540 | 2,386 |
| 資本の部合計 | 522,853 | 480,242 |
| 負債・資本の部合計 | 977,766 | 916,191 |

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
 (要約四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 注記 | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) |
|-----------------------------|----|--|--|
| 売上収益 | | 670,963 | 541,403 |
| 売上原価 | | △575,484 | △475,487 |
| 売上総利益 | | 95,479 | 65,916 |
| 販売費及び一般管理費 | | △83,658 | △74,501 |
| その他の収益 | | 2,586 | 5,628 |
| その他の費用 | | △49,115 | △34,970 |
| 営業損失(△) | 1 | △34,708 | △37,927 |
| 受取利息 | | 361 | 160 |
| その他の金融収益 | | 101 | 316 |
| 支払利息 | | △2,093 | △1,249 |
| その他の金融費用 | | △544 | △558 |
| 持分法による投資損益 | | 1,137 | △144 |
| 税引前四半期損失(△) | | △35,746 | △39,402 |
| 法人所得税費用 | | △5,049 | 5,462 |
| 四半期損失(△) | | △40,795 | △33,940 |
| 四半期損失(△)の帰属 | | | |
| 親会社株主持分 | | △38,934 | △33,719 |
| 非支配持分 | | △1,861 | △221 |
| 四半期損失(△) | | △40,795 | △33,940 |
| 1株当たり親会社株主に帰属する 四半期損失(△) | | | |
| 基本 | | △91.06円 | △78.86円 |
| 希薄化後 | | — | — |

注1. 要約四半期連結損益計算書に表示している営業損失からその他の収益、その他の費用を除いた指標である調整後営業利益は、前第3四半期連結累計期間11,821百万円、当第3四半期連結累計期間△8,585百万円であります。

(要約四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) |
|------------------------------------|--|--|
| 四半期損失(△) | △40,795 | △33,940 |
| その他の包括利益 | | |
| 純損益に組み替えられない項目 | | |
| その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動額 | 60 | 151 |
| 持分法のその他の包括利益 | 95 | 121 |
| 純損益に組み替えられない項目合計 | 155 | 272 |
| 純損益に組み替えられる可能性のある項目 | | |
| 在外営業活動体の換算差額 | △4,310 | △3,429 |
| キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値 の純変動額 | △81 | 99 |
| 持分法のその他の包括利益 | △25 | △43 |
| 純損益に組み替えられる可能性のある 項目合計 | △4,416 | △3,373 |
| その他の包括利益合計 | △4,261 | △3,101 |
| 四半期包括利益 | △45,056 | △37,041 |
| 四半期包括利益の帰属 | | |
| 親会社株主持分 | △42,940 | △36,895 |
| 非支配持分 | △2,116 | △146 |
| 四半期包括利益 | △45,056 | △37,041 |

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

| | 資本金 | 資本 剰余金 | 利益 剰余金 | その他の 包括利益 累計額 | 自己株式 | 親会社 株主持分 合計 | 非支配 持分 | 資本の部 合計 |
|----------------------|--------|-----------|-----------|---------------------|--------|-------------------|-----------|------------|
| 2019年4月1日 | 26,284 | 115,045 | 425,886 | 21,925 | △1,161 | 587,979 | 7,232 | 595,211 |
| 会計方針の変更による 累積的影響額 | — | — | △607 | — | — | △607 | — | △607 |
| 会計方針の変更を反映 した期首残高 | 26,284 | 115,045 | 425,279 | 21,925 | △1,161 | 587,372 | 7,232 | 594,604 |
| 変動額 | | | | | | | | |
| 四半期損失(△) | — | — | △38,934 | — | — | △38,934 | △1,861 | △40,795 |
| その他の包括利益 | — | — | — | △4,006 | — | △4,006 | △255 | △4,261 |
| 親会社株主に対する配当金 | — | — | △12,827 | — | — | △12,827 | — | △12,827 |
| 非支配持分に対する配当金 | — | — | — | — | — | — | △22 | △22 |
| 自己株式の取得 | — | — | — | — | △3 | △3 | — | △3 |
| 自己株式の売却 | — | 0 | — | — | 0 | 0 | — | 0 |
| 非支配持分との取引等 | — | 298 | — | — | — | 298 | △1,382 | △1,084 |
| 利益剰余金への振替 | — | — | 11 | △11 | — | — | — | — |
| 変動額合計 | — | 298 | △51,750 | △4,017 | △3 | △55,472 | △3,520 | △58,992 |
| 2019年12月31日 | 26,284 | 115,343 | 373,529 | 17,908 | △1,164 | 531,900 | 3,712 | 535,612 |

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

| | 資本金 | 資本 剰余金 | 利益 剰余金 | その他の 包括利益 累計額 | 自己株式 | 親会社 株主持分 合計 | 非支配 持分 | 資本の部 合計 |
|--------------|--------|-----------|-----------|---------------------|--------|-------------------|-----------|------------|
| 2020年4月1日 | 26,284 | 115,405 | 374,820 | 4,969 | △1,165 | 520,313 | 2,540 | 522,853 |
| 変動額 | | | | | | | | |
| 四半期損失(△) | — | — | △33,719 | — | — | △33,719 | △221 | △33,940 |
| その他の包括利益 | — | — | — | △3,176 | — | △3,176 | 75 | △3,101 |
| 親会社株主に対する配当金 | — | — | △5,558 | — | — | △5,558 | — | △5,558 |
| 非支配持分に対する配当金 | — | — | — | — | — | — | △8 | △8 |
| 自己株式の取得 | — | — | — | — | △4 | △4 | — | △4 |
| 自己株式の売却 | — | 0 | — | — | 0 | 0 | — | 0 |
| 非支配持分との取引等 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 利益剰余金への振替 | — | — | △106 | 106 | — | — | — | — |
| 変動額合計 | — | 0 | △39,383 | △3,070 | △4 | △42,457 | △154 | △42,611 |
| 2020年12月31日 | 26,284 | 115,405 | 335,437 | 1,899 | △1,169 | 477,856 | 2,386 | 480,242 |

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) |
|--|--|--|
| 営業活動に関するキャッシュ・フロー | | |
| 四半期損失(△) | △40,795 | △33,940 |
| 四半期利益から営業活動に関する キャッシュ・フローへの調整 | | |
| 減価償却費及び無形資産償却費 | 41,611 | 38,405 |
| 減損損失 | 45,138 | 24,956 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △1,137 | 144 |
| 金融収益及び金融費用(△は益) | 2,175 | 1,331 |
| 固定資産売却等損益(△は益) | 1,584 | 638 |
| 事業構造改革関連費用 | — | 1,534 |
| 事業再編等損益(△は益) | 43 | △1,971 |
| 法人所得税費用 | 5,049 | △5,462 |
| 売上債権の増減(△は増加) | 10,172 | △6,540 |
| 棚卸資産の増減(△は増加) | 20,184 | 10,298 |
| 未収入金の増減(△は増加) | 7,908 | 2,371 |
| 買入債務の増減(△は減少) | △23,521 | △5,557 |
| 未払費用の増減(△は減少) | △3,527 | 1,121 |
| 退職給付に係る負債の増減(△は減少) | 761 | 1,538 |
| その他 | △8,504 | △8,288 |
| 小計 | 57,141 | 20,578 |
| 利息及び配当金の受取 | 2,228 | 596 |
| 利息の支払 | △2,202 | △1,341 |
| 事業構造改革関連費用の支払 | — | △523 |
| 法人所得税等の支払又は還付(△は支払) | 281 | △6,203 |
| 営業活動に関するキャッシュ・フロー | 57,448 | 13,107 |
| 投資活動に関するキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得 | △47,017 | △21,003 |
| 無形資産の取得 | △1,106 | △663 |
| 有形固定資産の売却 | 293 | 984 |
| 有価証券等(子会社及び持分法で会計処理 されている投資を含む)の取得による収支 (△は支出) | △109 | △208 |
| 有価証券等(子会社及び持分法で会計処理 されている投資を含む)の売却による収支 (△は支出) | 123 | 25,813 |
| その他 | △228 | 607 |
| 投資活動に関するキャッシュ・フロー | △48,044 | 5,530 |

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) |
|-----------------------|--|--|
| 財務活動に関するキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減(△は減少) | 23,418 | 44,248 |
| 長期借入債務による調達 | 934 | 410 |
| 長期借入債務の償還 | △16,337 | △49,717 |
| 非支配持分からの子会社持分取得 | △1,084 | — |
| 配当金の支払 | △12,827 | △5,558 |
| 非支配持分株主への配当金の支払 | △22 | △8 |
| 自己株式の取得 | △3 | △4 |
| 自己株式の売却 | 0 | 0 |
| 財務活動に関するキャッシュ・フロー | <u>△5,921</u> | <u>△10,629</u> |
| 現金及び現金同等物に係る為替変動による影響 | △943 | △1,050 |
| 現金及び現金同等物の増減(△は減少) | <u>2,540</u> | <u>6,958</u> |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 41,098 | 42,353 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | <u>43,638</u> | <u>49,311</u> |

（5）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（6）セグメント情報

I それぞれの報告セグメントに含まれる主な製品・サービスは以下のとおりであります。

| 報告セグメント | 主要製品 |
|----------------------|--|
| 特殊鋼製品 | <特殊鋼> 工具鋼、自動車関連材料、剃刃材および刃物材、精密鑄造品、航空機・エネルギー関連材料、ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料、電池用材料 <ロール> 各種圧延用ロール、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品 |
| 素形材製品 | <自動車鋳物> ダクタイル鋳鉄製品〔HNM®〕、輸送機向け鋳鉄製品、排気系耐熱鋳造部品〔ハーキュナイト®〕、アルミニウム部品 <配管機器> 設備配管機器（®印各種管継手・各種バルブ、ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器、密閉式膨張タンク） |
| 磁性材料・ パワーエレクトロニクス | <磁性材料> 希土類磁石〔NEOMAX®〕、フェライト磁石、その他各種磁石およびその応用品 <パワーエレクトロニクス> 軟磁性材料（アモルファス金属材料〔Metglas®〕、ナノ結晶軟磁性材料〔ファインメット®〕、ソフトフェライト）およびその応用品、セラミックス製品 |
| 電線材料 | <電線> 産業用電線、機器用電線、電機材料、ケーブル加工品、工業用ゴム <自動車部品> 自動車用電装部品、ブレーキホース |

II 前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | その他 | 合計 | 調整額 | 要約四半期連結損益計算書計上額 |
|----------------|---------|---------|------------------|---------|---------|-------|---------|--------|-----------------|
| | 特殊鋼製品 | 素形材製品 | 磁性材料・パワーエレクトロニクス | 電線材料 | 計 | | | | |
| 売上収益 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上収益 | 189,558 | 226,839 | 88,849 | 164,544 | 669,790 | 1,173 | 670,963 | — | 670,963 |
| セグメント間の内部売上収益 | 111 | — | 10 | 311 | 432 | 1,377 | 1,809 | △1,809 | — |
| 計 | 189,669 | 226,839 | 88,859 | 164,855 | 670,222 | 2,550 | 672,772 | △1,809 | 670,963 |
| セグメント利益又は損失（△） | 2,497 | △917 | △42,839 | 5,342 | △35,917 | 328 | △35,589 | 881 | △34,708 |
| 金融収益 | — | — | — | — | — | — | — | — | 462 |
| 金融費用 | — | — | — | — | — | — | — | — | △2,637 |
| 持分法による投資損益 | — | — | — | — | — | — | — | — | 1,137 |
| 税引前四半期損失（△） | — | — | — | — | — | — | — | — | △35,746 |

（注）1. セグメント利益又は損失は営業損失で表示しております。

2. セグメント間取引は独立企業間価格で行っております。セグメント利益又は損失の「調整額」には主として報告セグメントに帰属しない全社の一般管理費の配賦差額が含まれております。

Ⅲ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 | 合計 | 調整額 | 要約四半期 連結 損益計算書 計上額 |
|----------------|-----------|-----------|------------------------------|---------|---------|-------|---------|--------|-----------------------------|
| | 特殊鋼 製品 | 素形材 製品 | 磁性材料 ・パワー エレクト ロニクス | 電線材料 | 計 | | | | |
| 売上収益 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上収益 | 158,572 | 171,489 | 75,487 | 134,805 | 540,353 | 1,050 | 541,403 | - | 541,403 |
| セグメント間の内部売上収益 | 122 | - | 32 | 212 | 366 | 980 | 1,346 | △1,346 | - |
| 計 | 158,694 | 171,489 | 75,519 | 135,017 | 540,719 | 2,030 | 542,749 | △1,346 | 541,403 |
| セグメント利益又は損失(△) | △7,952 | △13,355 | △15,219 | 375 | △36,151 | 870 | △35,281 | △2,646 | △37,927 |
| 金融収益 | - | - | - | - | - | - | - | - | 476 |
| 金融費用 | - | - | - | - | - | - | - | - | △1,807 |
| 持分法による投資損益 | - | - | - | - | - | - | - | - | △144 |
| 税引前四半期損失(△) | - | - | - | - | - | - | - | - | △39,402 |

(注) 1. セグメント利益又は損失は営業損失で表示しております。

2. セグメント間取引は独立企業間価格で行っております。セグメント利益又は損失の「調整額」には主として報告セグメントに帰属しない全社の一般管理費の配賦差額が含まれております。